

幼稚園の遊具 (三)

東京女子高等師範學校教授

佐々木 等

十月號にペンを執りました時はさうしたこゝか氣乗りがしないので、誠に熱意のない原稿になつてしまひました。

それならば次の原稿をしつかり書けばよいではないかこゝ仰せられるかも知れませんが、それが又問題なのであります。理由は國民學校の體鍊科の要目調査委員會が頻りに開かれて居ること、厚生省の仕事として女子體力章檢定の種目決定の會合が屢々開催せられて居ること、女子の體育鍊成會に顔を出さなくてはならないことになつて居ること、學校の諸行事に惱殺されて居ることなきからばかりでなく、私の個人的な幼稚園の遊具に對する知識の貧困が大なる問題となつて思ふ様にペンが走らないのであります。

前月號さ、前々月二號さに、滑臺さか、登棒さかを書いた積りで居りますから、今日は何か他に幼児達が自然的に好む遊具について述べて見たいと思ふ。

幼稚園時代の幼児さいふものは、何かしら、自分の身體を搖ぶるこゝを限りなく好くらしいのであります。その理

由はわからないが、彼等は母親の懷に抱かれて居た時代、子守唄を數へながら母親に搖すぶられた感觸を多分に體得してそれが殘存して居る爲めかも知れない。

鞞繩 此の感觸を自らの手によつて試みて見やうとする。それには最も好適したる鞞繩がある。鞞繩は彼等に取つてはなくてはならないこゝろの自然的遊具なのであります。

この遊具にも種々の種類がありますが、幼児に適するものは稍々長じたものに與へるものよりもより安全性を具へたものでなければならぬ。

それには、腰掛て居て誰かに搖すつて貰ふ形式のものがよいであります。然かも假りに腰掛から落ちるやうなこゝさがあつても危険のないやうにつくられたものがよいのであります。

但し、此の鞞繩の運動は被動式運動であつて、身體の發育、體力の増強から見ては大して効果を期待し得ないこゝろのものであります。

しかし、彼等はこの遊に對して言ふべからざる歡喜を味ふらしく見えるのであります。

被動式の運動でありますが、前の方へ振られる時には、胸廓を擴大して大いに吸氣をなし、呼吸筋の修練と共に腹筋の緊張を招來し、軽い腹壓を高め、内臓諸器官の機能を盛んならしめるやう促進するものであります。

又後方に振られる時は胸廓を縮小して呼氣をなし、腹筋はゆるみ、背筋の鍛鍊をはかるのであります。體側に吊られた二本の支柱は兩手で持つて身體の顛倒することを防ぐと共に、之れによつて身體を支へる力、即ち、懸垂力の養成を圖ることが出来るのであります。

即ち、自らの力によつて行ふ運動でなく、被動式の運動であるから發汗するやうのことも、過勞に陥ることもなく極めて平易な、然かも相當の體育的效果を期待し得るこの種の運動さいふこぎが出来てもあります。此の時代の體操や、其他の運動の多くは、身體の内部の發育を促進することに對しては不十分なるものがありますが、此の遊は、不知不識の間に内臓に刺激を與へ、内臓の機能を促進し、内臓の正常なる發育をはかることとなるのであります。

かうした被動式の運動が此の時代の幼兒にはよい運動であるさいふこぎが出来るとであります。前にも述べてある

やうに此の時代の幼兒は自分の力を發揮して大いに持續的に活動するさいふやうなことは甚だ不得手な時代であり且つ、之れを要求することは無理なことなのであります。

従つて、鞦韆の如き自然的な遊を彼等に與へるさいふこぎは彼等に取つては最も好適な運動さいふこぎが出来ないのであります。然かも、それから來る効果が相當大なるものゝあることを思ふのであります。

次にも一つの自然運動としての遊具を擧げるならば、未だ日本のどこでも造つて居ないものであります。地面から高さ四十糎位のところに一本の棒を横たへる。此の棒は丸木の自然木が最もよいと思ふが木の質によつて皮が剥げるに滑り過ぎる恐があるから、栗の木か檜の木なざがよいであります。

それではなければ、多少加工して上面を平に削つた方がよい。その長さ三、四米のものを固定して動かない様にする。それだけ渡つて遊ぶこぎも出来ませんが、幼少の時は平衡を取ることが困難でありますから手の支へのある方がよいと思ふ。

それで前に固定した横木から約三十糎位側方に離して平行にして高さ地上から一米か一米十糎位の横木を固定する。此横木は直徑四、五糎位の丸い木にしてもよし、又上方を丸味を帯びせた幅廣の板にしてもよい。子供達が持ち易

い様にしたものがよい。

かうした二本の横木を造つてやるこゝ、子供達は只でさへ何かに凭つて遊びたい時代でありますから、必ず此の横木に乗つて側の本を渡り始めるに違ひがないのであります。

此の種の遊具は我國で工夫されてあるのを未だ見たことがないのであります、之が出来たら屹度彼等は奪合つて寄付く様に思はれるのであります。

勿論季節によつて或は出来たてに否こによつて異なるでありませうが、兎に角喜んで寄付くこゝを思ふのであります。

此の遊具から如何なるこゝが期待せられるかといふに、子供は身體の重量に比べて案外一時的の握力が強いのであります。丁度雨蛙の足の吸盤見たいな役割を演ずるのでありませう。

よく高い方の横木を持つて確實に低い横木を踏みしめて渡るこゝに努力するであらう。彼等が高いこゝに上るこゝを限りなく好むものであるといふこゝを述べたと思ふが、地上四十糎の高いこゝに上つた時の彼等の心持といふのは只高いなあといふ氣持で一杯であると思ふ。

それだけ彼等は氣宇が大きくなるのであります。そればかりでなく始めは恐々渡つて行つたものを何回さなく繰返して居る中に自然に自信力がついて後には平氣で樂な氣持で渡り終るこゝいふやうになるものであります。

四

而して、平均運動が樂に出来るやうになる。平均運動が樂に出来るやうになるといふこゝは三半器官の正常なる發達によるものではあります、かうした運動を行ふこゝによつて自然にその機能の訓練が積まれるのであつて、最初は恐ろしいといふ氣持が強く全身の緊張を缺き、思ふやうに渡れないものも遂には平氣で渡れるやうになるといふのは、馴れるといふこゝに共に神經訓練が出来るからであります。

同時に此の運動から臂を前に舉げて三、四米横に歩く間に胸廓の擴張をはかるこゝとなるものであつて、それに伴つて自然に呼吸が深く大きく行はれる爲めに呼吸筋の修練がなされるのであります。

又、此の平均運動は身體の兩側前後上下の相平衡せる緊張がなければならぬのでありますから、全身の調和的發達に導くこゝが出来るのであります。

此の時代の幼児は身體的に見て必ずしも平衡の取れたものと思はれませんが、否平衡の破れ易い身體の發育状態にあるこゝが、此の時代の特徴と見てもよいでありませう。

即ち、頭が急に大きくなつたり、或時は急に手足が伸びたりする時代でありますから、相平衡せる運動を要求するこゝが不合理かも知れませんが、かうした自然的運動を行つて居る間に自然に彼等の發育上に必要な慾求が

充たされることゝなるであります。

此點、彼等の精神上に及ぼす影響も亦大なるものがあるといふことが出来るであります。即ち、最初は努力的に行つたものが否、之れを見た時にあれを渡つてやらうといふ勇氣を出しては見たが思ふ様に渡るこゝが出来ずに、非常に努力的に渡つたものが漸次樂な氣持となり次には平氣で渡れる様になるといふ自信力が出来て来る。次に更にもう一段高い困難なものを欲求するやうになつて来るであります。

かうしたこゝによつて、彼等の元氣は更に倍加して行くといふこゝがうかがはれるのであります。彼等に此の横木を渡らせるばかりでなく、高い方の横木には飛付かせて、それに吊下がらせるこゝも出来るのであります。之れによつて、身體を舉上するこゝの臂の力を養ふと共に、全身的の運動として身體發育を助長するこゝが出来るのであります。

以上は我國に未設備の、私の観念的なものであります。造らうとする意志さへあればいさ心安く造るこゝの出来る遊具なのであります。

若し本當に子供をよく育て上げやうとする考へのある方は、此の貧弱なる私の觀念を必ずや實現して見やうなさるであります。又、それほゞの考へを持つておいでに

ならない方は、何だ話らないこゝではないか誰だつてそれ位のこゝは考へて居るおつしやるかも知れませんが、誰か一つ我國の幼稚園の魁をなし先鞭をつけてその實際を證明して頂いたら此上もない幸せと思ふ。

子は國の寶なりであります。かうした遊具をつくつても放任して置いてはいけないのであります。特に子供達の喜んで遊んで居る時には眼を彼等から離さずに常に怪我なきの起らない様に注意しなければならぬこゝは事新らしく申述べた必要はないと思ふ。

これから漸次寒さも加はつて來ますから遊具も戸外から漸次室内に移つて行くことゝなるかも知れませんが、出来るだけ戸外で遊ばせるやうに仕向けて欲しいと思ふ。

その理由は成べく日光に當てたいといふ希望からであります。寒い時には自然に放つて置いても成るべく暖い方向つて行くものであります。室内を暖めるに其處に這入つたきりになり勝てありますから、濁つた空氣の中に長時間居るこゝゝなつて衛生上から見てよいこゝでないのであります。

こゝが大事な他人の子を、國家の寶を考へて健康に強く明らかに育て上げるやう祈つて擲筆することにしませう。こゝも皆様の御期待に添ふやうなこゝを書けないペンの鈍さを御ゆるし下さい(二六・一〇・一〇)